

つくば市教育委員会および各学校関係者・保護者の皆様

新潟県立看護大学
永吉 雅人

子どもの「香害」および環境過敏症状に関する実態調査の結果報告

去る2024年7月から9月にかけては、「子どもの「香害」および環境過敏症状に関する実態調査」を実施させて頂きました。全国からの有効回答数は8,012名分、つくば市からの有効回答数は1,021名分でした。お忙しい中、ご協力頂きありがとうございます。今回は、その結果について簡単ではありますが、ご報告させて頂きます。

図1は、1. 人工的な香りによる体調不良（香害）、2. 化学物質過敏症状、3. 電磁過敏症状について「あり」と回答した割合を、学年区分（小学校低学年・小学校高学年・中学生）ごとに集計した結果を示しています。

	香りによる体調不良（香害）				化学物質過敏症状				電磁過敏症状			
	小学低	小学高	中学	全体	小学低	小学高	中学	全体	小学低	小学高	中学	全体
つくば市	3.7%	14.0%	11.6%	9.7%	12.6%	21.5%	22.8%	18.8%	2.0%	5.2%	4.3%	3.8%
全国	6.8%	11.2%	12.9%	10.1%	14.7%	20.8%	23.6%	19.4%	3.0%	4.2%	3.5%	3.6%

図1 体調不良（症状）ありと回答した割合

全国の結果をみると、1. 人工的な香りによる体調不良（香害）と 2. 化学物質過敏症状については、学年区分が上がるにつれて割合が高いこと、3. 電磁過敏症状については、小学校高学年が高い割合となっています。

つくば市では、1. 人工的な香りによる体調不良（香害）と 2. 化学物質過敏症状については小学校高学年の割合が全国よりも高く、3. 電磁過敏症状については小学校低学年の割合のみ全国よりも低かったことが確認されました。

以上より、回答率が高くないため、割合そのものにあまり意味がないのかもしれませんが、つくば市に限らず全国規模で、人工的な香りや化学物質、電磁発生源によって体調不良を訴える児童・生徒が一定数いることが確認できました。

今後も引き続き、今回の調査結果の分析を進めることに限らず、協力の同意が得られた市区町村にて調査を継続し、「香害」および環境過敏症の発生予防対策を検討していく予定です。

また、何かご不明な点ございましたら、お気軽に下記問い合わせ先までご連絡ください。今回は、ほんとうに有難うございました。

【問い合わせ先】
＜研究責任者＞ 新潟県立看護大学 人間環境科学 准教授 永吉雅人 E-mail: env-hs24@niigata-cn.ac.jp